

＜第2分科会のテーマ＞

## 「地域スポーツクラブと部活動」

(調査の目的)

地域スポーツクラブの現状を把握することや、指導者の意識を指導者自身に回答してもらうことによって、運営環境や指導体制が中・高校生にとって妥当なのか、そうでないのかを探りたい。

また、教職員の地域スポーツクラブに対する意識を把握することで、学校職員自体が今日の部活動の現状をふまえて、地域スポーツクラブの存在をどのように評価しているのかを明らかにしたい。

(ここまでの流れ)

①研究部会にてアンケート調査を実施することに決定。(7月)

- ・地域クラブの運営組織はどうなっているか
- ・地域クラブのコーチはどういう立場で何を意識しているか
- ・地域クラブに通っている中高校生の意識調査(このあと実施予定)
- ・今教職員は部活動と地域クラブをどうとらえているか

②調査項目の検討(7月～)

- ・各分科会委員の調査したい項目を集める
- ・菊先生や理事長、副理事長と数回にわたり校正

③地域クラブアンケート調査先を探す(9月～11月)

- ・教育委員会体育課に問い合わせ ×
- ・富山県体育協会に問い合わせ ×
- ・富山県高体連各専門部に問い合わせ ○
- ・各郡市町村体育協会に問い合わせ ○
- ・各県連盟、県協会に問い合わせ ○

④約500のクラブに郵送。(11月末)

- ・宛名書き
- ・封書つめ
- ・発送、返信郵送代金
- ・12月末回収。201通返信あり。(直接持参し、訴えかけられるケースも)

⑤教職員へのアンケート

- ・他の分科会とタイミングを遅らせた。慎重に考えていただきたいため。(特に記述)
- ・運動部活主顧問に限定
- ・問い合わせあり(またか!など)

⑥データ集計（1月末）

- ・研究委員による手作業集計
- ・正しく回答できていないものもある

⑦各項目毎のみの数値データをグラフ化

- ・時間がない。記述項目まで対応し切れていない。
- ・粗雑で簡単すぎる考察

⑧中間発表

- ・中間といっても30%段階とみてよい。

では各数値結果をご覧下さい・・・

富山県高体連研究部第2分科会

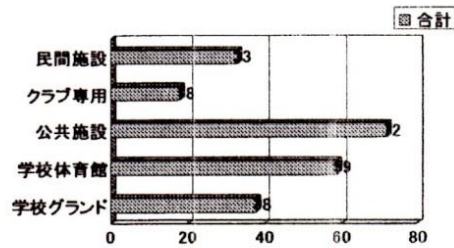
アンケート調査結果  
地域スポーツクラブ  
＜運営者対象＞

有効回答数

187

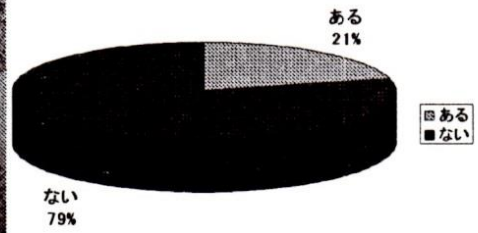
— 地域クラブ —

Q あなたのクラブはどの施設を使っていますか



— 地域クラブ —

Q あなたのクラブに事務所はありますか



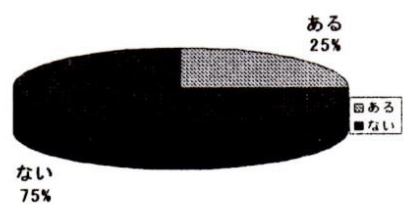
— 地域クラブ —

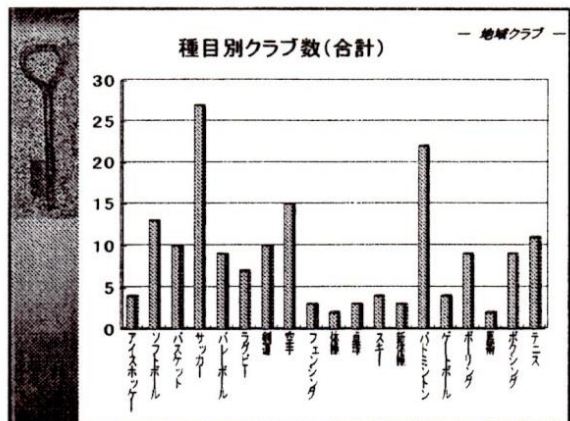
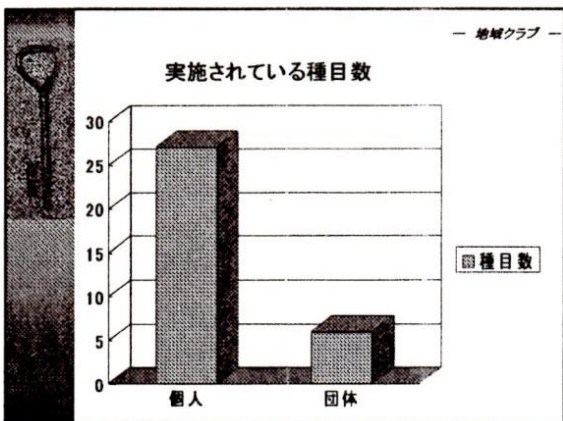
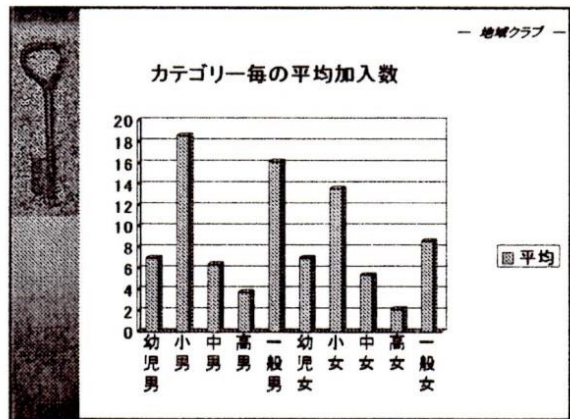
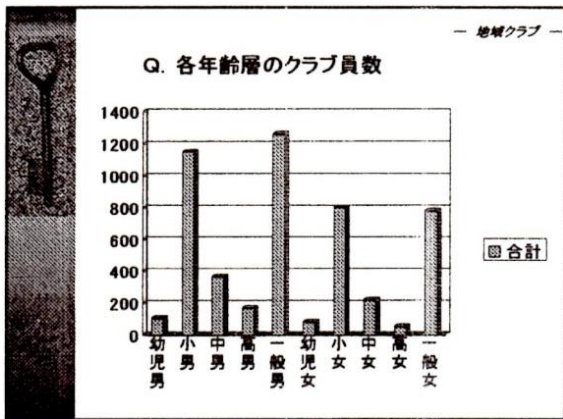
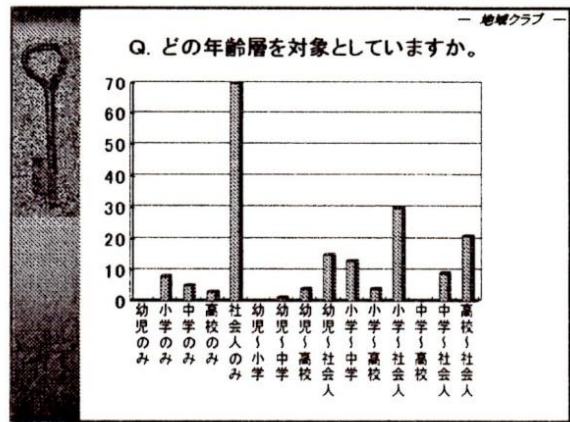
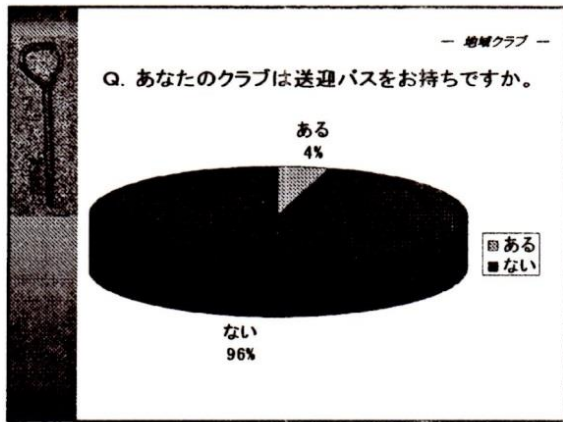
Q あなたのクラブにミーティングルームはありますか。

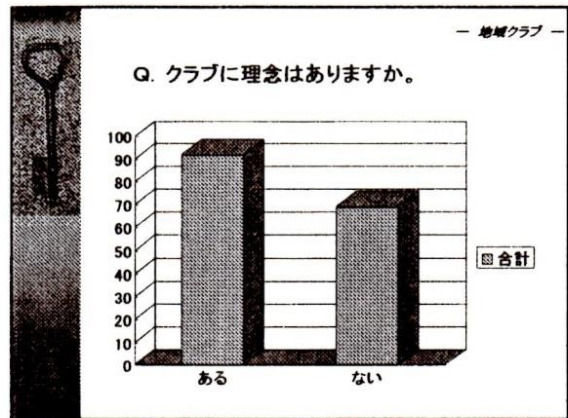
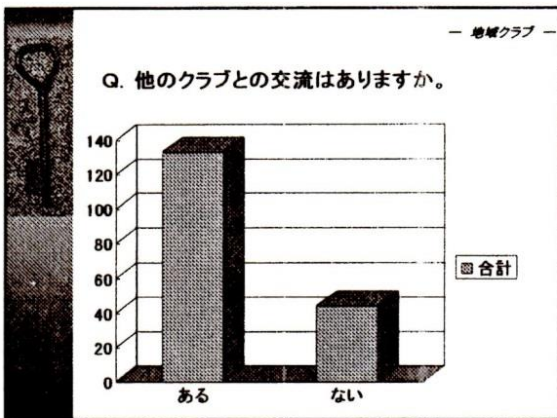
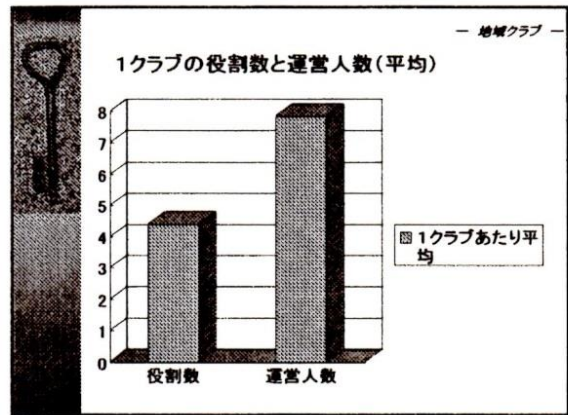
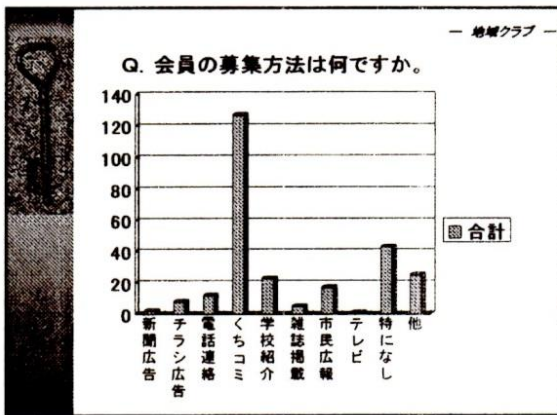
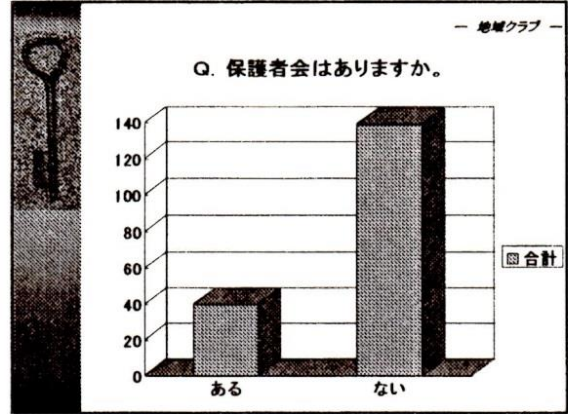
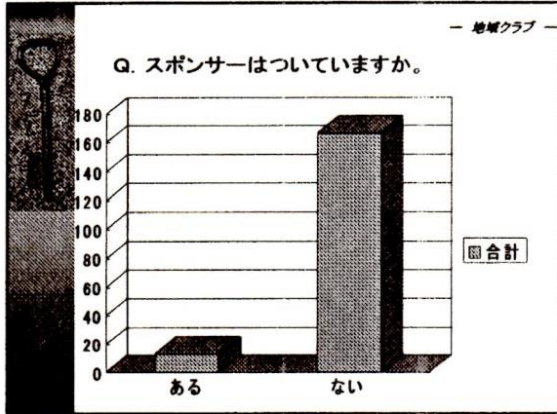


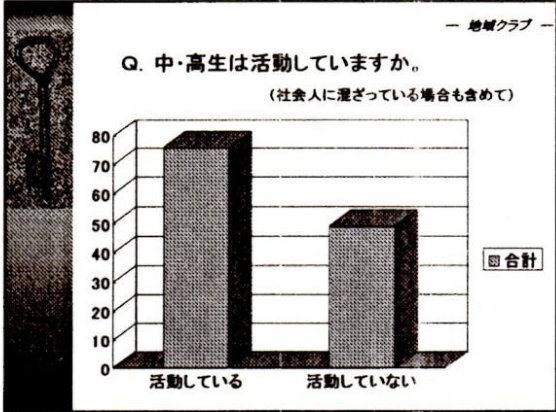
— 地域クラブ —

Q あなたのクラブにシャワールームはありますか。

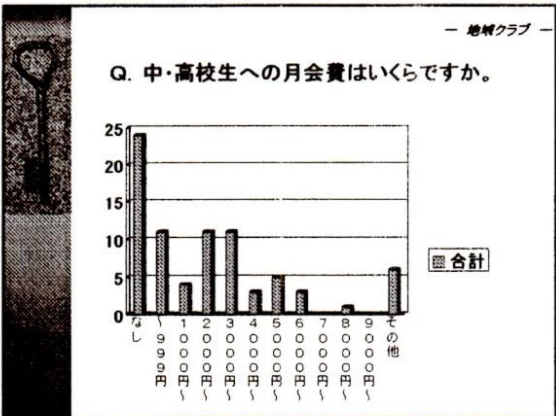
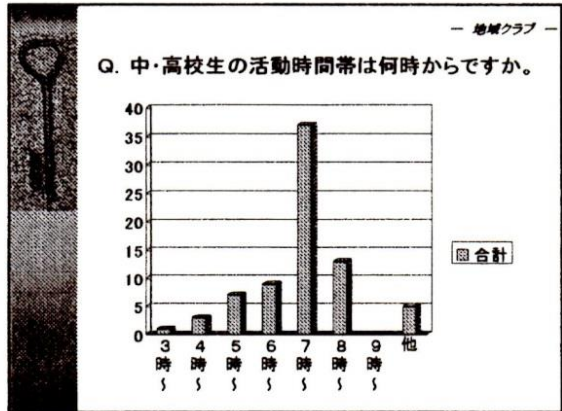
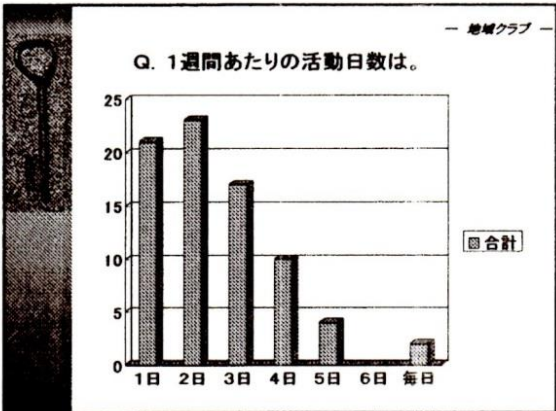




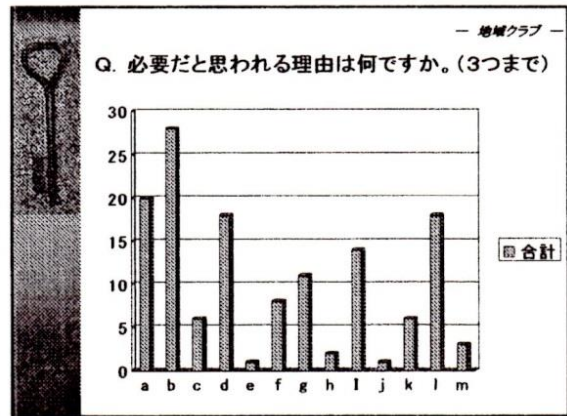
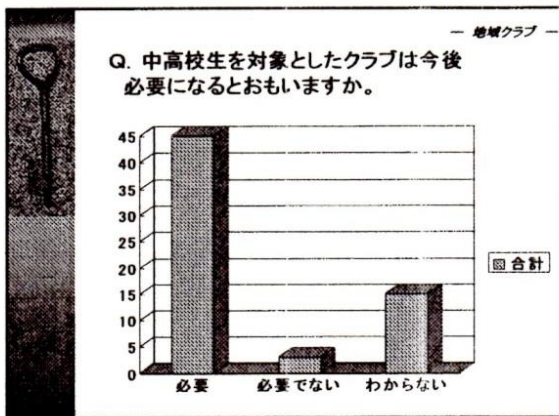
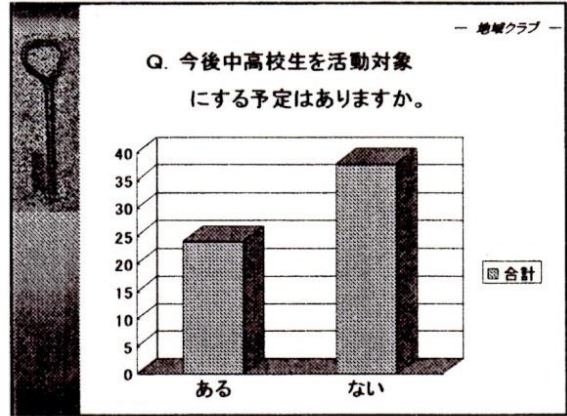
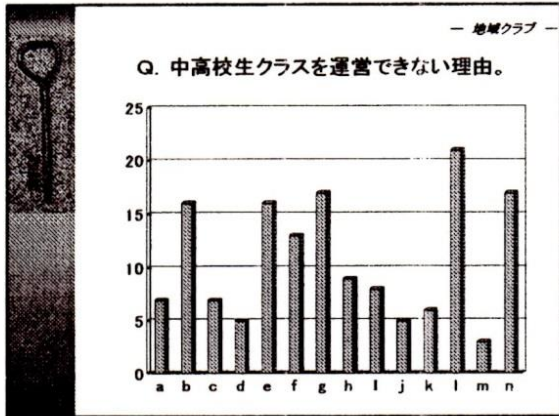




中・高校生が活動している  
クラブにお聞きします。



中・高校生が活動していない  
クラブにお聞きします。



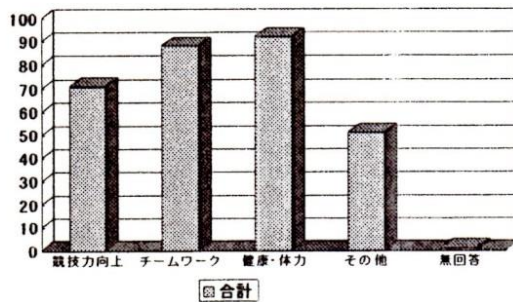
高山県高体連研究部第2分科会

アンケート調査結果  
地域スポーツクラブ  
＜コーチ対象＞

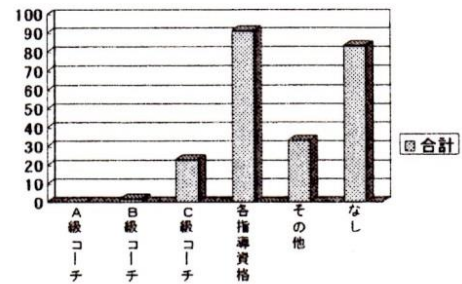
有効回答数

222

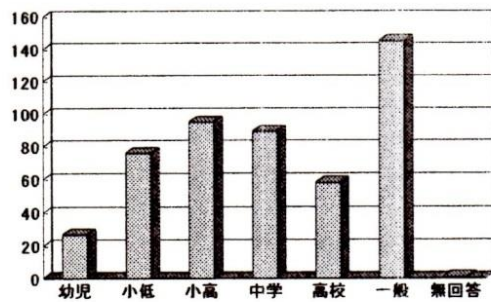
Q. あなたの指導目標は何ですか。



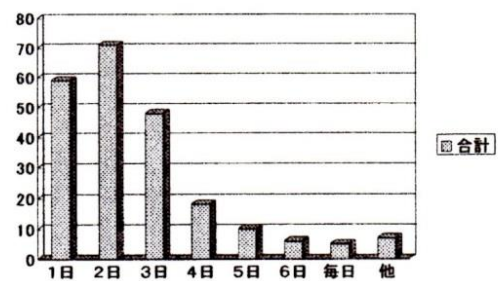
Q. あなたは資格をお持ちですか。



コーチしている年齢層(すべて含む)

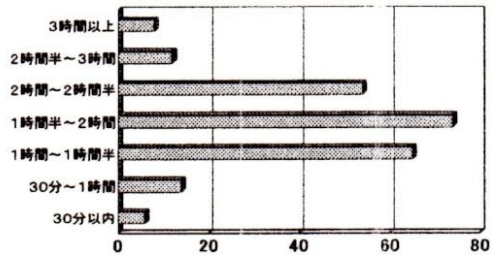


Q. あなたは週に何日コーチしていますか。

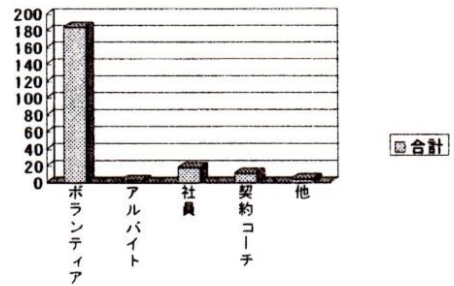




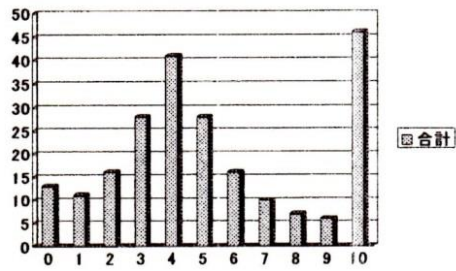
Q. あなたの1回の指導時間はどれくらいですか。



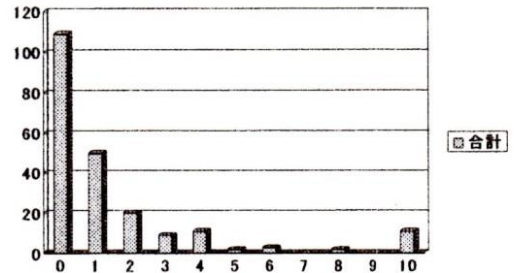
Q. あなたはクラブではどのような立場ですか。



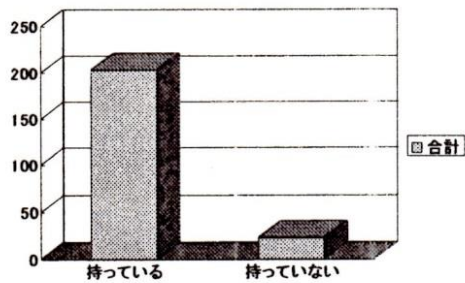
Q. 年間の公式大会は何回ありますか。



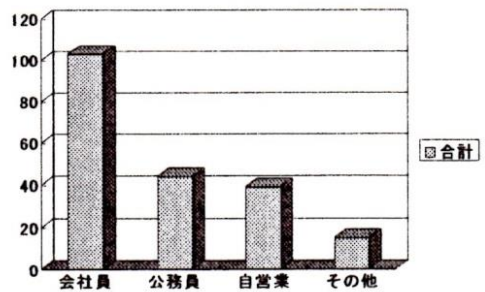
Q. 月当たりの平均練習試合数は何回ですか。



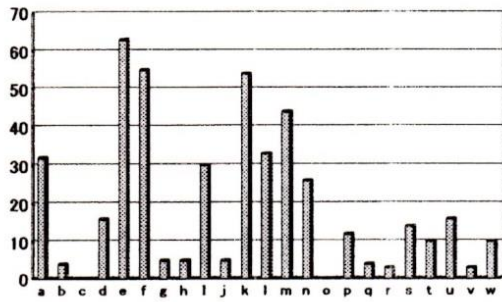
Q. あなたは職業を別にお持ちですか。



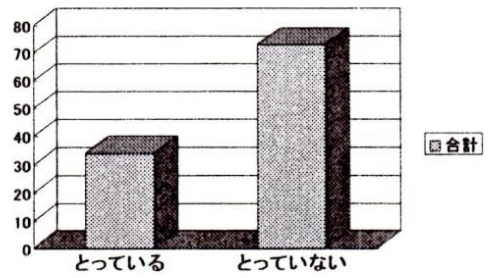
Q. 職種は何ですか。



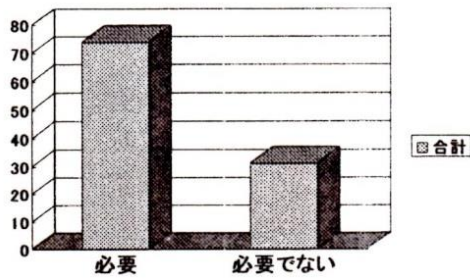
Q. スポーツを通じてどうなってほしいですか。  
(4つ選ぶ)



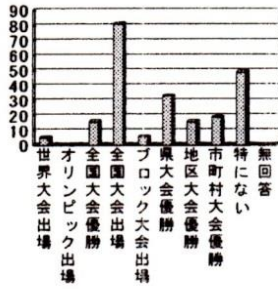
Q. あなたは学校関係者と子供達の活動状況についてコンタクトをとっていますか。



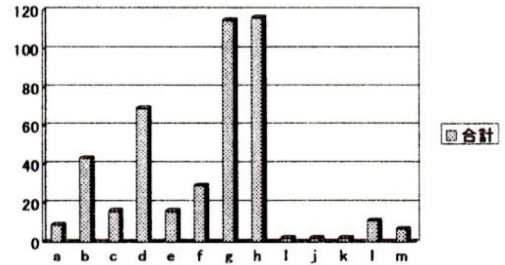
Q. あなたは子供達の育成にクラブコーチと学校関係者との情報交流は必要だと思いますか。



Q. 最もよかった大会成績は何ですか。

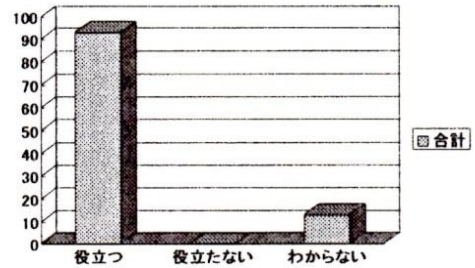


Q. あなたは将来どのようなコーチになりたいですか。

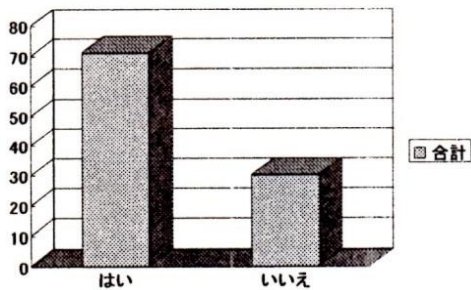


ここからは中高校生  
を指導しているコーチ  
のみお答え下さい。

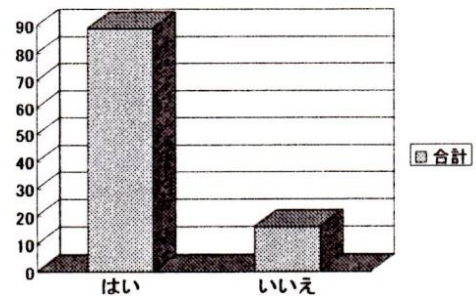
Q. クラブに来ている子供達は人格形成  
に役立っていると思いますか。



Q. あなたは長期一貫指導体制のもとで指導  
していますか。



Q. あなたの指導対象は複数の年齢  
層に関わっていますか。



<ここまでの総括>

我々研究班は現在の高校部活動の問題点、数年後に訪れるであろう少子化による高校部活動への影響、完全週休2日制による子供達の自主的な過ごし方や教職員の負担軽減、国体後の財政的なスポーツ活動への反動など様々な課題を地域スポーツクラブは解決していく糸口になり得るのか、もしかしたらなり得るのではという視点から調査しました。

この点を明確化していくことが大きな目的ですが、各調査はその基礎資料としての役割を持っています。

その観点からみると、各調査からは概ね予想した数値となり、今後の調査に明るい兆しが見えたような気がします。

しかし、一番重要な部活動加入者や退部者、地域クラブ会員など中・高校生自身の調査を進めない限り、本当の答えは見えてこないかもしれません。

また、この調査自体もクロス集計や補足調査などが必要と思われます。ゆっくり時間をかけて進めたいところですが、行政主導型のプランも背後から迫っていますので、今現在活躍している現場の方や受益者サイドの意見が反映されるよう、より効果的な調査を進めたいと考えています。今後ご協力ご意見をお願いします。

第2分科会研究班